

---

# バチアタリ 握るトンカチ軋む家（仮）

マウントスリー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バチアタリ 握るトンカチ軋む家（仮）

### 【Nコード】

N8053Z

### 【作者名】

マウントスリー

### 【あらすじ】

時は平成元年6の月。

岡山県民俗学研究部、通称才力研のハリボテ部長こと金尾拓也<sup>かなおたくや</sup>は、後輩の尾前後見<sup>おのまへあとみ</sup>と共に真夜中の山に繰り出していた。

草木も眠る丑三つ時、とある山の奥から夜ごと金槌を叩く音が聞こえてくるとかこないとか。そんな噂が生徒たちの間に広まっていた為である。

どう考えても与太話。しかし才力研としては朗報もつけの幸い。二人が通う高校は部活動の入部を義務付けられているが故、楽な

文科系に人が流れやすい。中でも幽霊部員の溜まり場となっている  
オ力研は学校、とりわけ生徒会にとっては目の上のタンコブ、もと  
いめばちこ。

対外的にも見た目が悪い。ならば膿は出したほうが良い。

夏休み前までに活動実績が見られなければ廃部との御触れが出た  
のは今年の5月。残す時間は後わずか。

このままでは廃部。そうなれば他の部活への強制入部は必至。

そんな時に飛び込んだこの噂。

事の真偽を見事確かめる事が出来れば、まさしくオ力研の面目躍  
如となるに違いない。

妙なところで律儀な二人はわざわざ実地まで足を運ぶ事になった  
のだが、今にして思えばこれがケチの付き始め運の尽き。

その事に気が付くのは、ほんの少し先の事である。

三人称の練習で行き当たりばったり書いていこうかと。

## プロローグ

触らぬ神に祟りなし、という言葉がある。

厄介事に首を突っ込むと大抵ろくな事にはならない。それならば、いつそ関わりを持たなければいい。だいたいそんな意味だ。

実にもっともな事だと思う。

思うが、しかし。

人間、生きていく為には外に出なければならないし、外に出れば図らずも厄介事に首を突っ込んでしまう事だつてある。

そんなのはゴメンだ、とばかりに、親のスネに噛り付いてニートや引き籠りなんぞになろうものなら、もうソレ自体が厄介事だ。疫病神と言ってもいい。

スネをしゃぶりつくした後は死ぬしかない。

そういつた修羅道を進む勇気がないのであれば、やはり大人しく外に出て生きるしかないのだ。

とはいえ、一度外に出てしまえばどんなに慎重に生きているつもりでも、ふとした拍子に道端の石コロの一つや二つは蹴っ飛ばしてしまうもの。

普通であればとるに足らない出来事だ。明日には忘れている事だろう。

しかし時として、そのとるに足らない出来事が大事になってしまふ事がある。

例えば、飛んだ石コロがヤーサンの頭にブチ当たる、とか。

……想像するだに恐ろしいが、そうそう当たる物でもない。しかし、油断してはならない。

蹴った石が人に当たらずとも、罰が当たる事はある。

なぜ、と思う。

思わずにはいられない。

事の発端は、文字通り石を蹴飛ばしたのが原因だ。

今にして思えば、実に不用意だった。

今更ながら、たかがその程度の事とたかをくくっていたのも悪かったと思う。

今度ばかりは己を改める必要があるかもしれない。こんな面倒事は二度とゴメンだ。

今頃一つ思い出した事がある。いま、いま、と続いて忌々しい事この上無いが。

八百万の神。

この世 日本には文字通り、実に大勢の神様がいらっしゃるらしい。

額面通りに受け取るならば、足の踏み場もないほどに。

それならば、気付かぬ内に神様を蹴っ飛ばしてしまう人間が一人くらいいたとしても仕方のない事だろう。

詰まる所、これはそういう話だ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8053z/>

---

バチアタリ 握るトンカチ軋む家（仮）

2011年12月25日19時45分発行